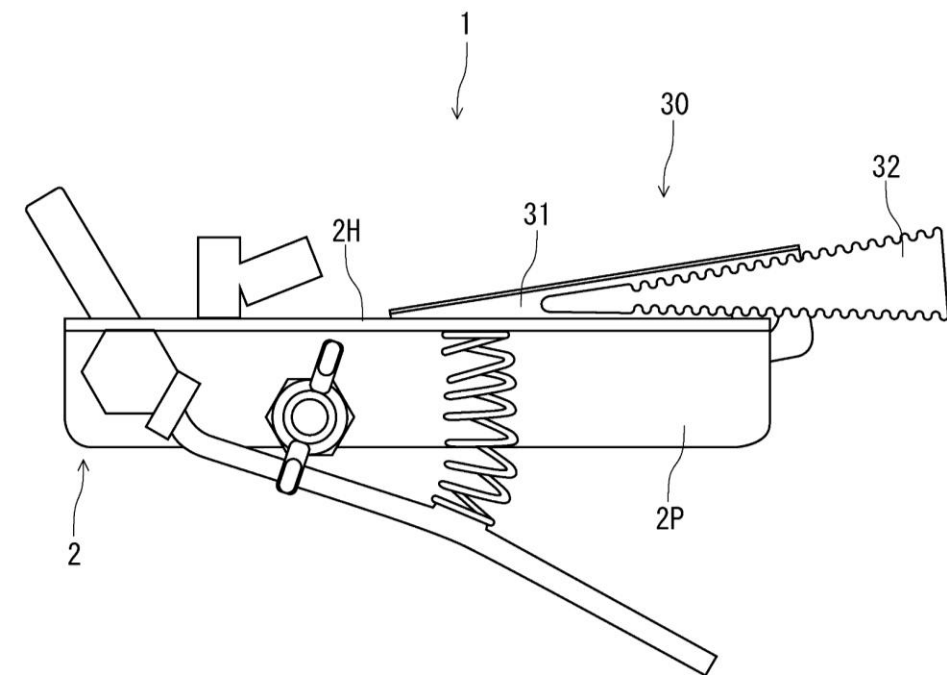


活用のヒント (追補版)

支持部材及び支持具

(角度調整機構付き・関連技術)



本資料は、既存の既存登録済み特許 第7050377号「支持部材及び棚」に関する「活用のヒント.pdf」で紹介した利用例に対し、関連技術として追加された「載置面の角度調整」機能を補足する資料です。

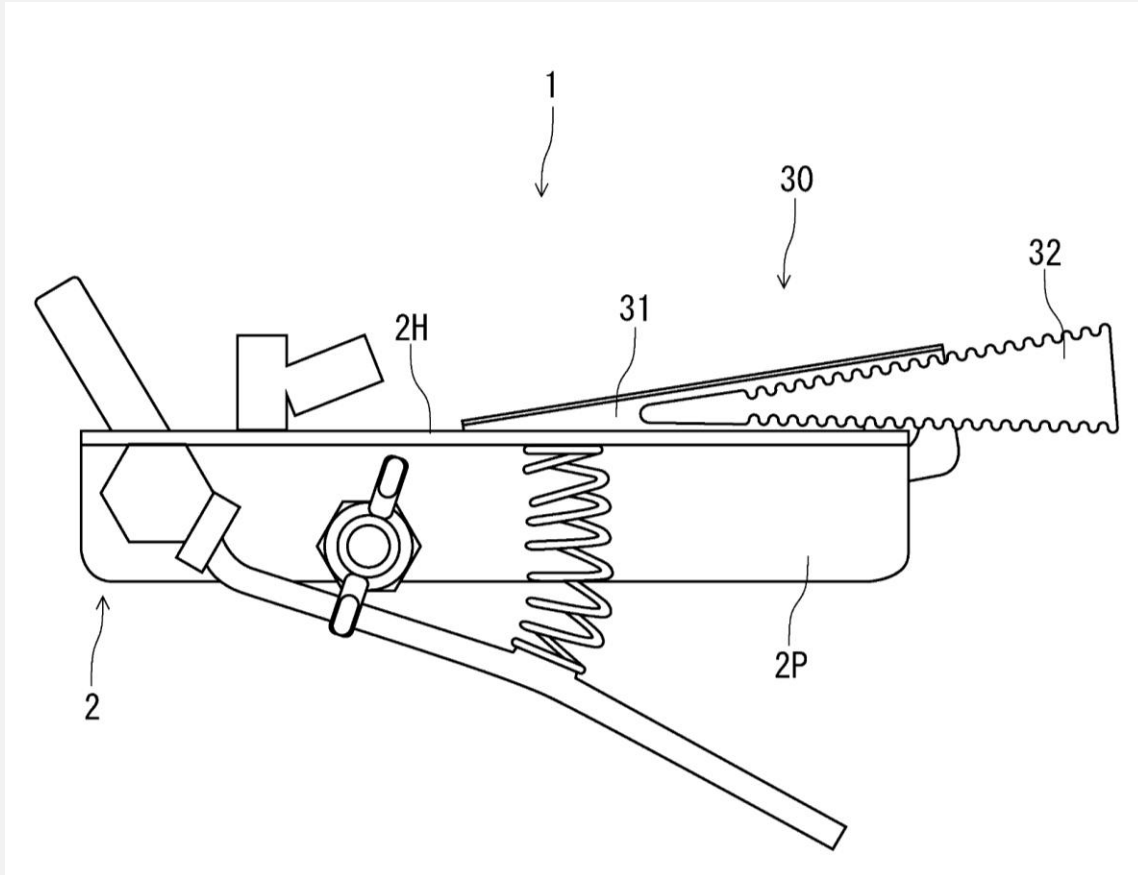
既存資料では、C型鋼材への容易な取付け、収納棚・固定部材・吊り下げ部材としての利用、さらにC型鋼材がない場所への応用例を紹介しています。本追補版では、これらの利用例に、棚板等をより安定して載置しやすくする角度調整機構を加えて説明します。

目次

1. 角度調整機構
2. 自立式の複数段棚・折りたたみ
3. 柱・水道栓・フェンス・机・上向きC型鋼にも展開
4. 既存の活用のヒント.pdfとの関係

1. 角度調整機構

棚板等を載せる面の角度を調整できる



今回の関連技術では、支持部材に**傾斜調整機構**を設け、棚板等が載る面の角度を調整できるようにしています。例えば、基体に対して回動可能な傾斜調整板を設け、その下にくさび状の傾斜調整部材を配置することで、載置面の傾きを変えることができます。これにより、C型鋼材の向きや取付状態に応じて、棚板等をより安定して載置しやすくなります。

【既存の活用例に加わるメリット】

- 棚板等を載せる面の角度を調整可能
- くさび状部材等により安定した角度保持が可能
- 取付状態や設置環境に応じて調整しやすい
- 収納棚、作業台、仮置き台として使いやすい

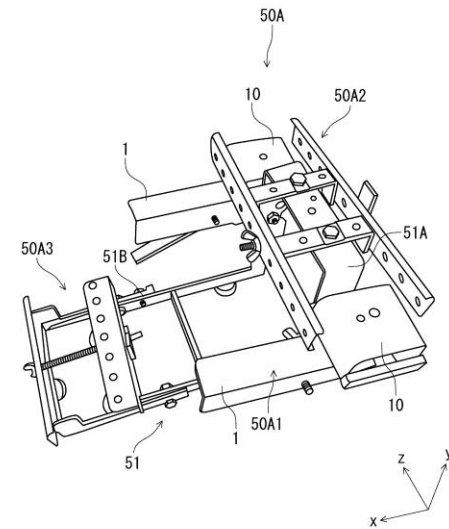
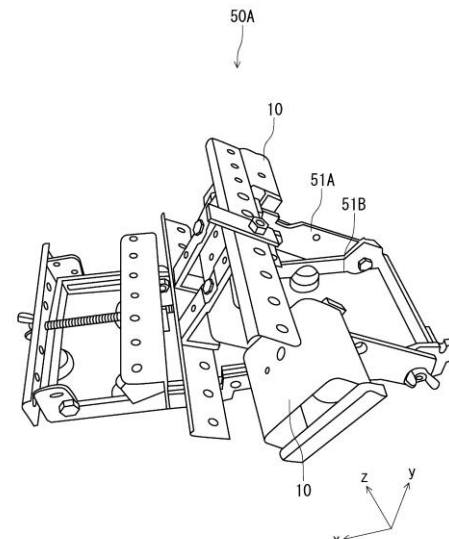
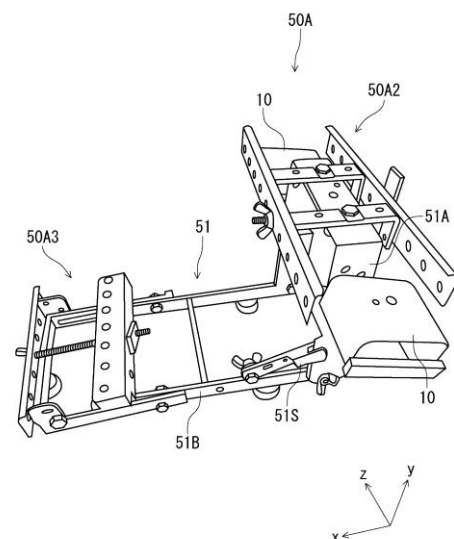
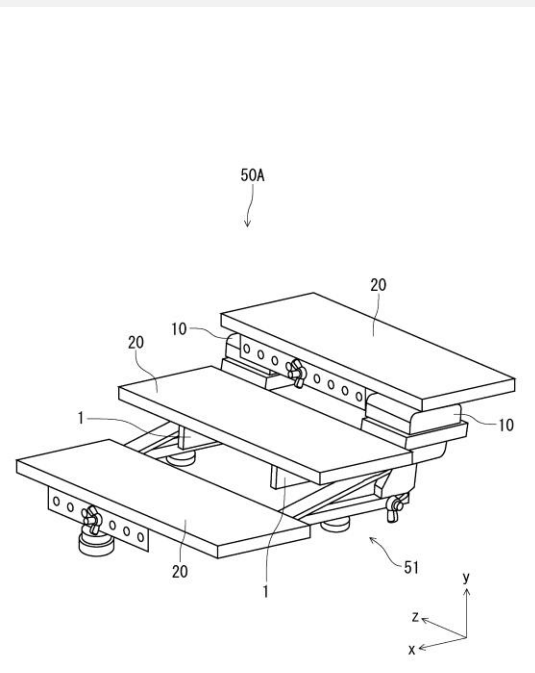
2. 自立式の複数段棚・折りたたみ

C型鋼材がない場所でも、複数段の棚として利用可能

今回の関連技術では、建物に固定されたC型鋼材だけでなく、持ち運び可能な支持具としても展開できます。

例えば、複数のリップ溝形鋼と支持部材を組み合わせることで、上段・中段・下段に棚板を載せられる自立式の複数段棚を構成できます。また、本体部分を折りたたみ可能にすることで、使わないときにはコンパクトにし、必要な場所へ持ち運んで設置することもできます。

【想定される使い方】 イベント会場での即席棚／作業場での一時的な工具置き場／倉庫内の仮設収納／ガレージや物置での移動式収納／必要な時だけ展開する簡易作業台／短期間だけ使う仮置きスペース

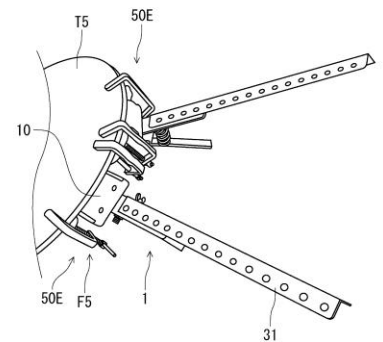
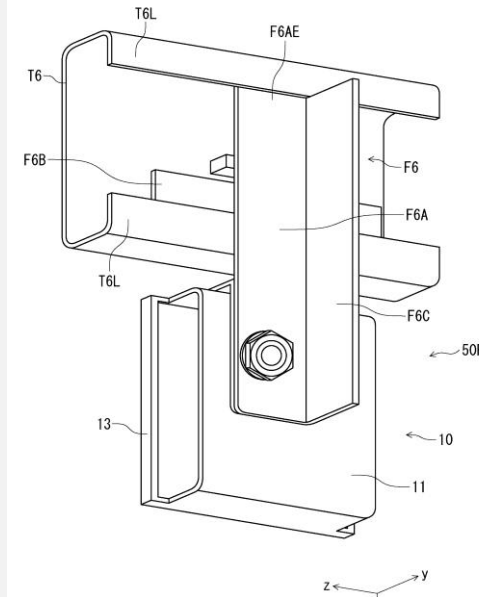
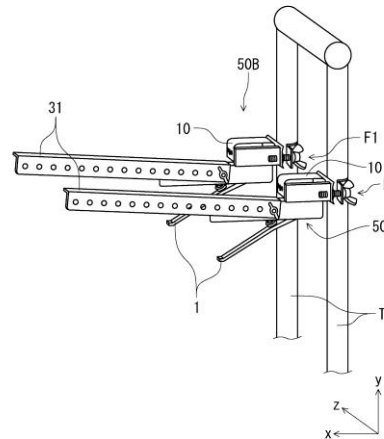
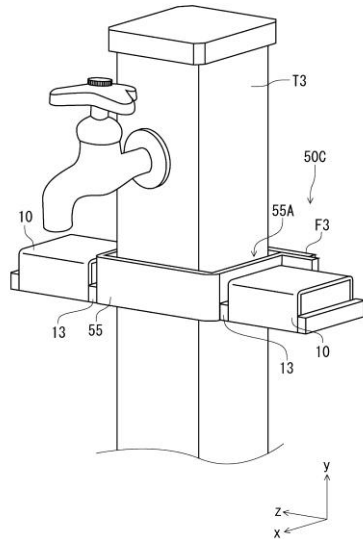
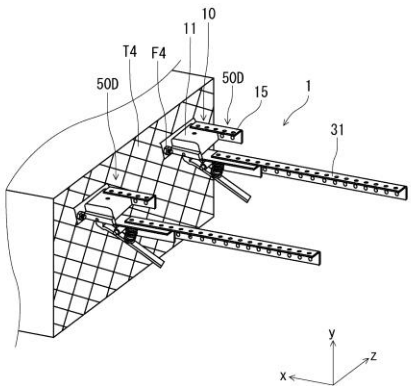


3. 柱・水道栓・フェンス・机・上向きC型鋼にも展開

C型鋼材がない場所でも、取付面を作れる

今回の関連技術では、補助部材を介して、C型鋼材がない場所にもリップ部付きの取付面を作ることができます。これにより、柱、水道栓まわり、フェンス・網、机や作業台の天板などにも、支持部材を取り付けて棚板や器具を支持できます。また、開口が上向きのC型鋼についても、別部材を介して支持部材を取り付けることができます。

【展開例】 柱まわりに棚板や器具を追加／水道栓まわりに小物置きを追加／フェンスや網に棚・支持部材を追加／机や作業台に補助棚を追加／上向き開口のC型鋼にも取付け可能



既存の「活用のヒント.pdf」との関係

角度調整という使いやすさを追加

既存の「活用のヒント.pdf」では、C型鋼材への取付け、収納棚・固定部材・吊り下げ部材としての利用、さらにC型鋼材がない場所への応用例を紹介しています。本追補版は、既存資料を置き換えるものではありません。今回の関連技術で追加された、**載置面の角度調整と、各種支持具への展開例**を補足する資料です。

まとめ

- ・ 既存資料：C型鋼材への取付けと基本的な活用例
- ・ 本追補版：角度調整機構と追加の支持具展開
- ・ 追加効果：棚板等をより安定して載置しやすい
- ・ 想定用途：工場、倉庫、学校、ガレージ、イベント会場、店舗、施設内の整理・固定・仮設用途

本関連技術により、現場に合わせて**置きやすく、外しやすく、調整しやすい**支持部材・支持具としての活用が期待できます。